

【資料】

福岡県内で配布された小中高校生用リーフレット「ワンヘルス」

浅川 満彦

酪農学園大学獣医学群 獣医学類感染 病理学分野医動物学ユニット

同 野生動物医学センター WAMC

はじめに

ワンヘルス推進基本条例（条例）を制定した福岡県からの提案で^[1,2]、これに従事する予定の県職員を対象にして、2021年11月に酪農学園大学において野生動物医学関連の研修を実施し、概要を北獣会誌で紹介した^[3]。その事前打ち合わせをした際に、同県が刊行したワンヘルスの理念を敷衍することを目的としたリーフレット3部を入手した（図1）。これらは小学生、中学生および高校生を対象に編纂されたものであり、北海道を含む他自治体で同様な試みをする場合には、参考になるだろうし、我々獣医師が市民に判り易くワンヘルスを伝える場面でも有益である。そのようなことから、今回、簡単に話題提供をしたい。

概 要

リーフレットのうち、高校生用は2021年4月に発行されたが、小中学生用の発行年月は未記載であった。また、編集担当部署は、前者が福岡県教育委員会（福岡県獣医師会 監修）、後者が同県保健医療介護部と異なっていた。しかし、その構成は小中学生・高校生用すべて共通で、表紙・奥付を含む8頁、本文では次の6つの項目（ポ

イント）が取り扱われていた；1）人と動物の共通感染症、2）薬剤耐性菌対策、3）環境保護、4）人と動物との共生社会づくり、5）健康づくり、6）環境と人と動物のより良い関係づくり。

特に、小中学生用共通のリーフレットでは、見開き、すなわち、一番目立つ場所に「ワンヘルス」がある場所（野外、学校、街および家）を示していた。「ワンヘルス」は抽象的な考えであるし、一般の児童生徒には、それまでの数年の人生で、「ワンヘルス」まで発想を連結させる経験は少ないだろう。したがって、遊び場となる野原や家庭・学校で飼育される動物、さらに給食や家で摂る食事などを通じて前述6項目が次々に解説されていた（図2）。このように身近なモノゴトから説き起こしていくことは判りやすいのだが、高校生用の見開きは、いきなり、環境破壊と新興感染症発生の関係や薬剤耐性菌の話題に踏み込んでいた。また、内容も各6項目に関しては、もちろん、小中学生より高度になっている（図3）。しかし、日頃、獣医学類2年生を対象にした講義経験から類推するに、理解してもらえるのかどうか不安になった。ただし、これを読む高校生が、既に小中学生用のリーフレットに目を通していたら理解は容易ではなからうか。少なくとも、本気で理解したい、あるいは、



図1. 福岡県発行のワンヘルスの理念を敷衍することを目的としたリーフレット表紙（左から、小学生、中学生および高校生を対象に編纂された）



図2. 福岡県発行のワンヘルスの理念の敷衍を目的とした中学生用リーフレットの見開き（左）と本文（右）



図3. 福岡県発行のワンヘルスの理念の敷衍を目的とした高校生用リーフレットの見開き（左）と本文（右）

進学先として「ワンヘルス」を学べるのが可能な大学を志向する高校生は、中学生用のリーフレットを容易に手に取る機会を準備してあげた方が望ましいと感じた。同県では「ワンヘルス研究協力高等学校」という制度があり、県・私立計10校が指定されている。さっそく、その高等学校に、拙著^[4]をお送りした。将来のワンヘルスを担う人材となって欲しい。

各項目のモデル疾病ほか

子供たちにとって、何がとっつきにくいかというと、疾病、特に、感染症とそれに関連する専門用語（病原体名含む）であろう。しかし、皮肉にもCOVID-19の蔓延で、子供達にも切実かつ具体的に肌感覚として体験してしまった。たとえば、高校生用リーフレットの、1) 人と動物の共通感染症では、冒頭にCOVID-19が掲げられ、新型インフルエンザ、牛海綿状脳症（BSE）、鳥インフルエンザ、エボラ出血熱と続いていた。なお、この項目では①感染源、②感染経路および③宿主（中学生用）あるいは感受性者（高校生用）についても解説されていた。また、2) 薬剤耐性菌対策では結核・マラリアおよび抗生物質、3) 環境保護では森林破壊や温暖化の関係で熱中症、4) 人と動物との共生社会づくりでは狂犬病やノミ・マダニなどが登場していた。5) 健康づくりでは疾病名称はなかったが、6) 環境と人と動物のより良い関係づくりでは、乳酸菌・ビフィズス菌など「善玉菌」に言及されていた。これらを理解した先に、「ワンヘルスと

は人の健康、動物の健康、環境の保全をひとつとして捉え、医師や獣医師、環境の専門家や研究者だけでなく、みんなで考えて行動しようという社会活動」（リーフレット表紙より）として会得するのである。

この目論見が、子供たちにしっかりと伝わったのかどうか、アンケート調査などを行い、確認し、改良を継続して素晴らしいものにして頂きたい。

謝 辞

2021年8月、小職が福岡県庁にお邪魔した際、今回のリーフレットの供与と「ワンヘルス研究協力高等学校」についての情報をご提供下さった福岡県保健医療介護部ワンヘルス総合推進室・江島宏和主幹および佐藤秀樹室長に感謝したい。

引用文献

- [1] 草場治雄：福岡県ワンヘルス推進基本条例とワンヘルスの取組み、日獣会誌、74、336-345（2021）
- [2] 蔵内勇夫：第78回通常総会 蔵内会長挨拶、日獣会誌、74、458-459（2021）
- [3] 浅川満彦：福岡県ワンヘルス条例に基づく派遣職員への野生動物医学研修-背景と概要、北獣会誌、66、印刷中（2022）
- [4] 浅川満彦：野生動物医学への挑戦-寄生虫・感染症・ワンヘルス。東京大学出版会、東京（2021）